

【総領事館からのお知らせ：バリ州での鳥インフルエンザ発生】

平成23年10月11日（総11第26号）  
在デンパサール日本国総領事館

1. バリ州バンリ県で鳥インフルエンザに感染した患者 2 名が亡くなる事案が発生しました。

患者は10歳と5歳の兄妹で、市場で購入した鶏が突然死んだ直後に高熱を発症したため、サンラ病院の集中治療室で治療を受けていましたが、9日及び10日に相次いで亡くなりました。

2. インドネシアは日本と比較して鶏が身近に存在する環境であることから、極力鶏を含む鳥類には近づかないこと、調理の際は十分に加熱する、手洗い等の感染症対策を励行してください。

また、インフルエンザを疑う症状が出た場合には速やかに医療機関での診察を受けることをお勧めいたします。

3. 鳥インフルエンザに関しては、以下の情報提供も併せて御参照ください。

(1) 外務省海外安全ホームページ「感染症関連情報」([http://www.anzen.mofa.go.jp/kaiian\\_search/index.html](http://www.anzen.mofa.go.jp/kaiian_search/index.html))

(2) 在インドネシア日本国大使館ホームページ「鳥及び新型インフルエンザ情報」予防や症状についての具体的な説明が掲載されています。(<http://www.id.emb-japan.go.jp/flu.html>)

以上